

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への当社の対応について

新型コロナウイルス感染症の感染が世界的に広がり、社会にとって必要不可欠な“エッセンシャルビジネス”として多くのお客様より供給継続を求められる中、当社グループにおいては様々な感染防止対策を講じています。一方で新型コロナウイルスの影響により事業環境が激しく変化する中、当社グループのビジネスチャンスは拡大しています。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症の感染が世界的に広がり、多くのお客様から供給を止めないでほしいとの声を多くいただく中、社会にとって必要不可欠な“エッセンシャルビジネス”として供給を継続するべく、当社グループにおいては様々な対応を行っています。

2020年2月3日には、代表取締役社長を議長とする「新型コロナウイルス対策会議」を発足させ、国内外の各拠点とWeb会議ツールを用いて情報の収集および共有を図っており、毎営業日の開催を継続しています。そのような中、日本国内の感染防止対策も進め、手洗いの徹底、マスク着用の義務化、毎日の検温の実施、発熱時やその者との接触がある場合の自宅待機期間の設定、対面来客の禁止、不要不急の出張禁止、工場入場者の制限、公共交通機関の使用禁止など、従業員はもとより家族やサプライヤーにもルール徹底の協力を要請しました。さらに、事業継続に向けた在宅勤務体制への移行、バリューチェーンチームの組成等、感染予防対策を徹底的に講じました。なお、在宅勤務率は本社および営業拠点においてピーク時で約9割に達しました。

これらの結果、緊急事態宣言下でも国内生産拠点は操業を維持し、一部海外の生産拠点で止むを得ず操業を停止しましたが、操業開始後は速やかに稼働しています。販売面においては、対面での活動が難しくなる中でも、オンラインによる営業活動や技術担当者の同席、技術セミナーのWeb開催などに加え、お客様との非対面コミュニケーションプラットフォーム「Omni THK」の活用を積極化させました。これらにより、大きな問題なく販売活動を継続しました。



新型コロナウイルス対策会議

事業環境の変化とビジネスチャンスの拡大

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、実体経済へ影響を及ぼす一方で、事業を取り巻く環境に劇的な変化をもたらし、当社グループのビジネスチャンスは広がりを見せています。リモートワーク等の広がりによる半導体関連の需要の拡大、非接触のニーズの高まりによる自動化関連の需要の裾野の拡大、医療関

連の需要の拡大など、様々な分野で後押しされていく状況にあります。したがって、新型コロナウイルスの影響による短期的な需要の調整はあったものの、中長期的には当社のビジネスチャンスは拡大していくものと思われ、それらを着実に取り込むべく様々な取り組みを推し進めています。



リモートワーク・オンライン
学習の広がりによる
半導体需要の拡大



医療関連の
需要の拡大



物流・店舗をはじめとする
自動化関連の需要の拡大